

(様式第6号 別紙)

## 長崎県福祉サービス第三者評価結果報告

### ①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構

### ②事業者情報

名称： 社会福祉法人 愛善会 キッズスクール認定こども園	種別： 幼保連携型認定こども園
代表者氏名： 理事長 藤原 浩	定員(利用人数)： 70 名
所在地： 長崎県諫早市宇都町町18番29号	Tel： 0957-21-3122

\*施設・事業所情報は、事業所プロフィール参照

### ③施設・事業所の特徴的な取組

キッズスクール認定こども園は、平成24年4月に無認可保育所から認可保育所となる。平成28年4月、認可を受け幼保連携型キッズスクール認定こども園となる。

『子ども一人ひとりを尊敬し、将来を見据えた「自立」に向け、実体験に基づく、保育教育を実践します』、『「すべての子どもが天才である」という考えを前提に、自ら学ぼうとする力を育てるサポートを実践します』を保育方針に掲げている。保育実践はハンガリー保育とヨコミネ式保育を取り入れている。ハンガリー保育は「大事にされている」という感覚が積み重なって「大事な存在である」という日常を過ごすことで自己肯定感を育てている。ヨコミネ式保育では就学に必要な学習や吹奏楽、跳び箱、ダンスなど楽しみながら自ら育とうとする力を育てている。

職員の連携やコミュニケーションはリーダー会議を中心に行われており、保育の実践や園内での取り組みについて討議、改善が日々なされている。インカムを各職員が携帯し、常に連絡が取れる体制を構築している。

近年増加傾向にある自閉症スペクトラムの子どもが適宜療育を受けることができる「リタの心療育学苑」が施設に併設されており、療育を受けるまでに時間をかけることなく、専門のスタッフのきめ細やかな療育が行われている。

地域の情勢やニーズを的確に把握し、地域と連携しながら福祉の増進にも積極的に取り組んでいる。

#### ④第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 2年 11月 15日(契約日)～ 令和 3年 3月 31日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	3回(平成 29年度)

#### ⑤総評

◇特に評価の高い点

##### 1.中・長期的ビジョンが明確に示された事業計画の策定

理念や基本方針をもとに中・長期計画を策定されており、目標も数値化し明確に示されている。経営課題や問題点の解決に向けて、目標設定や完了予定日など数値を挙げ成果と共に示されている。単年度の計画への反映も行われており、事業内容もそれを踏まえたものとなっている。

##### 2.ボランティア等の受け入れ体制の確立

ボランティアを受け入れるためのマニュアルを整備し、受け入れる側とボランティア参加者で十分に話し合う場が設けられている。保育方針や子どもとの関わり方など丁寧に支援を行っている。地域の学校等の活動にも積極的に協力しており、地域との関係を適切に確保し、地域貢献に寄与している。

##### 3.障害のある子どもへの療育支援

こども園の敷地内にリタの心療育学苑を設置し、療育が必要と判断された子どもが円滑に療育を受けることができる環境を整備し、作業療法士 理学療法士 言語療法士等の専門職員を配置し、子どもへの療育と同時に、保護者へ子育てに関する適切な助言や情報を伝える取り組みを行っている。

◇改善を求められる点

##### 1.虐待防止マニュアルに基づく職員研修等の取り組み

虐待が疑われる場合は、主幹保育教諭を中心に確認を行い、保護者の精神面や適切な養育環境への支援を行っている。虐待防止対応マニュアルをもとに早期発見・早期対応を行っているが、今後の課題としてマニュアルに基づく職員研修等の取り組みを行うことに期待する。

##### 2.保育士等の自己評価の整備

職員の保育実践の振り返りはリーダー会議を通じて行い、保育士等の自己評価に関して望まれる保育士像に対する自己評価は行われているが、保育実践に対する取り組みが行われていなかった。今後は保育の改善や専門性の向上のため、保育実践に対する自己評価を行うことが望ましい。

#### ⑥第三者評価結果に対する事業者のコメント(事業所記入欄)

当園では、「社会人として」或いは「人」として職場(事業者)だけでなく、職員が生活している地域その他あらゆる場所でも信頼してもらえる人材となれ、と日頃から指導しております。今回の第三者評価でも良い評価をしてもらえ職員の自信に繋がりました。一方、あらためてマニュアルの研修等は出来ていなかった部分もあり、次年度へ向け、更に計画性を持った取り組みを進めていきたいと思っております。

⑦第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

⑧利用者調査及び書面調査の概要

(別紙)

# 第三者評価結果（共通）

\*すべての評価細目（46項目）について、判断基準（a・b・cの段階）に基づいた評価結果を表示する。

\*評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	a
<コメント> 理念は「子どもの最善の利益、権利を第一に考え、保護者からも信頼され、地域に愛される認定こども園を目指す」としており、法人の理念、基本方針は園のしおりやホームページに分かりやすく記載され、広告媒体として文書で示している。保護者会ではパワーポイント等を利用し説明を行っている。また、職員への周知はミーティングなどを利用して定期的に理念の確認を行い、継続的な取り組みを行っている。		

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a
<コメント> 理事長は福祉事業全体の動向に精通しており、法人運営に関わる状況分析を具体的に行い、経営に取り組んでいる。キッズスクールこども園が在る諫早市の子ども数や保育ニーズの把握、自閉スペクトラム症の子ども増加に対応するために補助事業として、敷地内に療育施設も整備し保育ニーズにも対応している。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a
<コメント> 理事長は経営環境や保育内容など積極的に組織にかかわり、職員体制や人材育成に取り組んでいる。保育士不足などの課題や問題点について明確に把握分析を行っている。経営状況や改善課題について、昼のミーティングを活用し職員への周知を図っている。改善課題については早期着手を心がけており、初期対応を大切に組みを行っている。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            理念や基本方針をもとに中・長期計画を策定しており、目標も明確に示している。経営課題や問題点への解決を具体的に示しており、目標期日や完了予定日など具体的な数値や成果を設定し、評価、見直しも行われている。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            単年度の計画は、中・長期計画の内容を反映し、事業内容として明確に示している。単年度の計画内容は保育内容、特別保育事業、行事予定、施設整備計画等、詳細に策定されている。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            事業計画は理事長を中心に策定し実施しているが、その内容は定期的に職員ミーティングで討議し、職員も参画して評価・見直しを行っている。問題を発見した際は少人数でも集まり、改善策について討議してしており、ミーティングは毎週1回行い、理事長参画のもと職員への理解を促している。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            年度初めの保護者会でパワーポイントを用い、分かりやすく説明を行っている。在園児保護者による保育ボランティア活動を行い、保育士と共に子どもたちとの触れ合いできる範囲で関わってもらうことで園に入って来やすい取り組みを行っている。この活動を通して、事業計画や保育内容等の説明も行っている。</p>		

## I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組みが組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
<p>&lt;コメント&gt; 職員個々に目標を設定し、定期的に園長が面談を行い目標達成に向けて組織的に取り組んでいる。保育内容について職員が行う自己評価を定期的に行い、理事長及び園長が行う評価と照らし合わせる組織的な評価も行っている。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
<p>&lt;コメント&gt; 自己評価結果を受け、教育・保育目標の認識度や職員間の連携、研修、安全への取組、特別支援教育など各項目に分け、取り組むべき課題や達成度を文書化して取り組んでいる。また、職員ミーティングで課題に対する改善計画を職員参画のもと策定する仕組みを整備し具体的に取り組んでいる。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; 園長は事業計画で当園の経営や管理について明確に示している。役割や責任については職務分担表で文書化し、職員会議において周知を図っている。施設長不在時の権限移譲等は文書化し、辞令簿を活用して周知を図っている。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt; 理事長は職場のコンプライアンスを重視しており、当園に関する幅広い分野の法律や法令に精通している。法令順守を周知徹底し、職員教育や働きやすい職場作りにも取り組んでいる。各種規程等関係書類も整備しており、職員へ周知する努力を行っている。</p>		

		第三者評価結果
II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	II-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は実践しているハンガリー保育を柱に、保育の質の現状について日々継続的評価を行っている。OJTを行い、その場で積極的に指導を行っている。保育の質の向上のために、定期的に職員と面談を行い、職員の意見や要望を受けとめ、実践に向けて取り組んでいる。例として職員から出た研修参加の要望など研修計画に反映するなどの取り組みも行っている。		
13	II-2-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a
<コメント> 園長は業務の実効性を高めるために、休憩時間の確保や執務時間を取り入れた残業ゼロへの配慮、有給休暇の積極的な取得等職員が働きやすい職場環境の整備に努めている。理事長の人事労務管理や財務状況の判断に応じて、園長が職員と面談を行い、職員の要望等を聞き取り適宜職場へ反映している。常に何か課題があればリーダー会議を開き、園長も積極的に参画している。		

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
<コメント> 中・長期計画や単年の事業計画に人材確保が課題として記載が行われていないのは人材がしっかりと定着していることが確認できる。人材確保や育成に関する方針も明確にされており、人員体制も計画的に配置されている		
15	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a
<コメント> 職員に「期待する職員像」を明確に示し、人事基準も定められたものを周知を行っている。その基準に基づき自己評価を行い、園長の評価と併せて総合的評価を行っている。保育においては苦手な分野を克服させるのではなく、職員の長所を伸ばすような人員配置を行っている。		

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
<p>&lt;コメント&gt;  毎月給与明細を渡す際に、相談事や困り事について話す場を設けている。職員の意向等の聞き取りは、職員が相談しやすいように個室を設けるなど組織内での環境的配慮も行っている。職員の就業状況は理事長が管理を行い、改善の必要がある場合は適宜リーダー会議において改善の検討が行われる仕組みを構築している。</p>		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  組織として「期待する職員像」を明確に示し、自己評価を定期的に行っている。今後、職員育成に向けた目標管理のための仕組みを構築し、職員一人ひとりが設定した目標に対し、目標水準、目標期限を明確に示し取り組むことが望まれる。</p>		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  ハンガリー保育とココミネ式保育の各研修会に職員が積極的に参加している。研修計画の中に「期待する職員像」を明記し、職務に応じて研修計画を策定している。計画の見直しに関する討議はリーダー会議で行い、見直し等を行っている。今年度は新型コロナウイルス感染防止のため、リモートでの研修を行っている。</p>		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  特に新任職員等の指導が必要な職員に対して、知識経験のある教諭がOJTを行い、困っていることなどを聞き取り助言を行っている。研修については研修内容を提示し、職員自ら学びたいことや興味のある研修を選択し、参加できる仕組みを構築している。</p>		



		第三者評価結果
Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
<コメント> 実習生を受け入れるにあたってのマニュアルを整備しており、学校関係等養成校の実習計画に合わせて行っている。実習生には担当保育士が付き、掃除など細かいことから専門職としての配慮など養成校側と連携しながら計画的に育成を行っている。実習生と園長が入念に話し合いを行い、問いかける形で実習生の自主性を尊重し丁寧に指導を行っている。		

### Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
<コメント> ホームページには、法人、こども園の理念や基本方針、財務諸表等を開示している。苦情に対する第三者苦情窓口や相談体制の整備等意見や苦情の申し出がしやすい環境を整備している。今後、第三者評価受審結果や苦情への取り組み状況等、改善結果の公表を適切に行うことが望まれる。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a
<コメント> 事務、経理、取引等に関する規程を整備しており、職員等にも示されている。職務分担表で権限や責任、役割を明示しており周知も行われている。今後、事業や財務について、顧問税理士である外部の専門家による監査支援を活用している。		

## Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            敬老会を利用して老人ホームや地域のデイサービスとの交流を行っている。社会資源については明確に文書化しており、掲示も行い保護者へ情報提供を行っている。地域や保護者への交流を広げるため、情報発信としてピクロ（保護者とのコミュニケーションサービスシステム）を活用し、保護者のニーズに応じて情報発信を行い、地域の社会資源を有効に活用している。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            ボランティアを受け入れるにあたってマニュアルを整備している。ボランティアを受け入れる側とボランティアに参加する保護者等で十分に話し合う機会を設け、保育方針や子どもとの関わり方等周知している。地域の学校等の活動にも積極的に協力し連携体制を整備している。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            地域の関係機関や団体の機能、住所、電話番号を記載した文書を職員及び保護者へ周知している。職員会議で理事長が説明を行い、職員間で共有するとともに、関係諸団体との連絡会議にも出席し連携を深めている。地域の同和問題にも積極的に取り組み、地域のネットワーク作りにも積極的に参画し、地域に貢献している。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            理事長は諫早市の福祉ニーズや生活課題を的確に把握するよう取り組み、中・長期計画に具体的に記載している。関係機関との連携や地域の各種会合にも積極的に参加し、情報発信や課題の集積を行っている。地域住民との交流活動も園児の芋堀りや大根配り、保育ボランティアなどを行い関係を深めている。</p>		

		第三者評価結果
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  諫早市の福祉ニーズや地域の実態を踏まえ事業計画を作成し、保育分野に関わらず地域の活性化のため理事長が会合に赴き、保育の提供に関する専門的な情報を発信し地域に対する取り組みを積極的に行っている。今後、社会福祉事業に留まらず、例えばこども食堂などの地域貢献に関わる公益的事業の展開に期待する。。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  園の理念に「子どもの最善の利益を第一に考える」、保育方針に「子ども一人ひとりを尊敬する」と記載している。週に1回のリーダー会議で実践の振り返りを行い、職員が子どもを尊重した保育実践ができるよう取り組んでいる。実践しているハンガリー保育は子どもの主体的な育ちを促すため、職員が常に声かけを行い、あそびを発展させる気づきに繋げている。今後、当該方針を保護者にも理解を図る取り組みが望まれる。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  園の職員として遵守すべき子どものプライバシー保護等の権利擁護に関する規程を整備している。職員採用時に提出する機密保持に関する誓約書があり、不適切な事案が発生した時の対応も明記している。子ども一人ひとりに配慮した適切な環境を各年齢ごとに構成し、子どものプライバシーを守る環境的な工夫も行われている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b
<p>&lt;コメント&gt;  主にホームページを通じて各種情報発信を行っている。見学者には園のしおりをもとに丁寧に説明を行い、落ち着いた雰囲気の中で会話ができるようカフェ風のオープンスペースや個別の相談室を整備している。しおりは適宜見直しを行っているが、保育内容や園の独自性など保護者が利用に際して選択できる機会を得るためにも、今後、公共施設など多くの人が園の情報を入手できるような場所にしおりを置くなど工夫することが望まれる。</p>		

		第三者評価結果
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b
<p>&lt;コメント&gt;            新年度説明会で保護者へ配布する重要事項説明書を用いて保育の開始や保育の内容変更について説明している。保護者が理解しやすい内容となっているが、保護者アンケートにもあったように、保育内容の変更や活動及び取り組みの変更に関する同意は、実施前に保護者の意向が十分反映されるよう決定の方法を経て同意を得ることが望ましい。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            保育の終了や転園等により保育の変更があった場合は、児童要録の送付や情報提供を積極的に行っている。保育の終了後も子ども、保護者が気軽に来園し相談できるように園長や主幹保育教諭が窓口となり、継続的な支援につなげている。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            利用者満足度を把握するため、年2回の保育参観や行事毎に保護者アンケートを行っている。日々の保育ではヨコミネ式保育のチェック項目で子どもの満足を図り毎週のリーダー会議にて分析を行い、課題が発見された際は改善をその都度行っている。園長や職員が保護者会に同席し、保護者の意向を把握する取り組みも行っている。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            苦情解決の為に体制を整備している。新年度説明会や3月と9月の園だよりに記載し、保護者への周知を行っている。行事ごとのアンケート調査では匿名で保護者が苦情を言いやすいような内容とし、日頃から保護者への声かけを大切にしている。</p>		

		第三者評価結果
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a
<p>&lt;コメント&gt;  保護者が相談しやすい環境作りの整備を行っている。相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選ぶことができることを文書で説明を行っている。保護者とのコミュニケーションは保育士との対面のほかPICRO（ウェブシステム）を導入し、携帯やスマートフォン等を活用して園の情報発信や保護者の意見収集を図っている。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a
<p>&lt;コメント&gt;  理事長は保護者からの苦情などがあつた際は、迅速に対応することを日頃から心がけ、組織的に解決に向けて取り組んでいる。苦情対応マニュアルの作成や意見箱を設置し、保護者の意向を積極的に把握する取り組みを行っている。苦情内容はリーダー会議で報告、討議、改善を行い職員の参画の下、改善に取り組んでいる。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  安全対策マニュアルを整備し、リスクマネジメントの責任者を明確に表記している。主担任の職員で構成したリーダー会議や職員会議にてヒヤリハットの事例を収集し分析や改善、防止対策を協議し、事故防止に対する取り組みを積極的に行っている。マニュアルは年に1回見直しを行い職員にも周知を図っている</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;  園長が感染症対策の責任者として、感染症マニュアルを基に組織的に対策の取り組みを行っている。発生時の対応と予防対策についてリーダー会議にて申し合わせを行い、会議内でマニュアルを年に1回見直しを行っている。園内で確認された流行性の感染症について、全園児を対象にした発生の件数を玄関に掲示したり、ピクロシステムで情報を発信し保護者が把握できるように対応している。</p>		

		第三者評価結果
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            非常災害時対応マニュアルを整備し緊急時の体制を明確に示している。立地条件や災害の影響を把握し、保育の継続性を保つことができるよう避難場所を決めている。災害時の子どもや保護者、職員の安否確認はピクロシステムを活用する方法を図っている。備蓄リストを理事長が管理し、適数を保管管理している。避難訓練は月1回行い、消防や警察等連携を図り立ち合い訓練も行っている。</p>		
40	Ⅲ-1-(5)-④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について、全職員に周知されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            不審者侵入時の対応マニュアルを整備し、年に1回不審者侵入時の対応訓練や研修を行い指導を行っている。訓練の際は警察とも連携し行っている。過去1年間において不審者の進入はなく、マニュアルも年に1回見直しを行っている。</p>		

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
41	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;            標準的な実施方法として、ハンガリー保育とヨコミネ式保育を導入し保育を実施している。2つの保育の大切な柱として保育実施に関する内容を文書化している。職員への周知や指導は園長を中心に行っている。より学びを深めるため職員の研修参加も積極的に行っている。</p>		
42	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            家庭・地域との連携、目指す認定こども園像・目指す保育教諭像のもとで、教育・保育の目標を養護・教育に区分けし、6か月未満児から5歳児の目標を8つの項目に細分化した「教育及び保育の全体目標」を立てている。目標内容を個別指導計画に反映し、保護者には計画作成時や見直し時に意見を求め同意を得ている。週1回、月1回等の職員会議で目標に沿った保育の実践ができているかを確認し、年1回見直しを行っている。</p>		

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
43	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>担任を個別指導計画策定の責任者とし、3か月に1回個別指導計画の見直しを行い、個別指導計画・月指導計画・ヨコミネ式個別目標・個別指導計画を作成し、毎月の職員会議で目標達成についての検討や見直しを行っている。指導計画等全体の責任者は園長であり、個別指導計画書等の作成時の書き方、指導、添削を行っている。経過の策定には毎週木曜日に職員ミーティングを開き、その際に園の全体職員が周知し情報を共有している。また、前週の子どもの姿・予想される子どもの姿についての週案等を職員会議で検討し、アセスメント個別計画についての見直し、振り返り・評価を実施している。</p>		
44	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>指導計画の内容確認や実施の見直しなどはリーダー会議を通じて毎週行い、次の指導計画作成に役立っている。その際は園長が指導やアドバイスをし、連携を深めるための取り組みを行っている。今後、指導計画の見直しなど保護者の意向把握や同意を得るための手順や組織的な仕組みを整備することが望まれる。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
45	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもの発達や家庭の状況を把握し記録する体制を整備している。個別の指導計画には保育の実施内容を記載し、気になる子ども一人ひとりの記録により確認できる。職員が担当制であり、誰が見ても状況を把握できる仕組みを整備している。情報共有はリーダー会議で行っている。</p>		
46	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園児の記録や家庭状況等が分かる文書の保管や廃棄、情報提供など規程を整備し、理事長が管理を行っている。個人情報保護に関する対策は、職員採用時に誓約書を取り罰則規定も明記し、職員への指導も行っている。個人情報の取り扱いに関する事項も保護者への説明を重要事項説明書に明記し説明を行っている。</p>		

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

## A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	a
<コメント> 保育課程は園の実態や地域性を考慮し、理念及び方針に基づき子どもの人権を守ることを前提に編成を行っている。保育課程編成の際には園長及び主幹保育教諭、指導教諭、職員が参画し編成している。保育課程は年に1回見直しを行っている。		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b
<コメント> 学校薬剤師が行う照度や空気検査の結果も良好であり、新型コロナウイルス感染症対策として適切に換気も行っている。水周りは清潔に保たれ、明るく衛生的な環境を構成している。保育室は家具や遊具を十分に用意し、落ち着いた雰囲気の中で子どもがくつろげる環境となっている。今後、午睡時の布団を床に直接敷いているため、衛生面を考慮した対応が望まれる。		
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a
<コメント> ハンガリー保育の標準的な実施方法として、子どもへの声かけは家庭環境や個人差を十分配慮し、子どもの長所を引き出し、子どもが考えあそびを発展させることに重きを置いている。職員は子どもに分かりやすい言葉で、穏やかに声かけを行っている。子どもをせかしたり制止するような言葉かけ可能な限り使用しないような保育を実施している。		
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a
<コメント> 各年齢にや発達の個人差に配慮し、子どもが自分でやろうとする姿を促すため、職員から積極的に声かけを行っている。発達に応じて急がせることなく基本的な生活習慣が身につくようなクラス内の環境を工夫している。おもちゃの内容や数、色合い等を配慮した配置や片づけがしやすい環境整備を行っている。子どものプライバシーを考慮したトイレや洗面所の配置を工夫している。		



		第三者評価結果
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          子どもが主体的に生活でき、あそびを展開できる人的及び物的環境を整備している。戸外での活動は屋上での遊びや散歩を活動として多く取り入れている。ピアノや吹奏楽も活動に入れており、仲間と協同して楽しく活動できるようにしている。</p>		
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          職員は担当制で保育を行っており、特定の保育士との愛着関係を作り月齢差に合わせた配慮を行っている。生活や遊びがゆったりと行えるようおもちゃや環境に配慮している。連絡帳やピクロシステムにより家庭との連携を密に行っている。</p>		
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          子どもが安心して主体的に遊べるような環境的配慮が随所に行われている。遊びの中で子ども同士の関わりや自我の育ちを保育士がしっかりと受け止め、必要に応じて声かけを行っている。子ども一人ひとりの発達状況を理解するため、検診後に保護者との面談を行い、家庭と連携した取り組みを行っている。</p>		
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          ヨコミネ式保育を実践しており、跳び箱やダンス、吹奏楽、ドリル学習など集団の中で安定した活動を行っている。各以上児クラスの子どもが、主体的に自分の持っている力を出し、取り組めるよう職員の励ましや友達と楽しみながら協力して活動する子どもの姿が窺えた。</p>		
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;          園内にリタの心療育学苑を設置しており、子どもの障害に応じた療育と環境を整備している。専門の職員を配置し、子どもへの療育と保護者への保育に関する適切な情報を伝えるための取り組みを行っている。保護者との連携も密に行われており、園生活の中で適切な支援ができるよう工夫している。</p>		

		第三者評価結果
10	A-1-(2)-⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            家庭的でゆったりとした環境を整備し延長保育を実施している。異年齢の子どもと一緒に過ごすことに配慮し、玩具やDVD、絵本等も豊富に用意している。保護者への連絡等、職員同士の引継ぎも適切に行われ、軽食の提供も行っている。</p>		
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            子どもが自分の意思を伝えることができる力を育て、就学以降の生活について見通しを持てるように給食の時間設定や読み書き、計算、持ち物の管理、椅子に座る姿勢等が学べる総合的な課業の時間を設定している。児童要録は園長及び職員が作成し、就学校との連携を図っている。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            子どもの健康管理マニュアルを整備し、子ども一人ひとりの心身の健康状態を把握している。子どもの定期健診受診の度に保護者面談を行い、健康状態や発達の状態、予防接種など必要な情報交換を行っている。今後、マニュアルについて関係職員への周知や研修会などの実施が望まれる。</p>		
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a
<p>&lt;コメント&gt;            健康診断や歯科検診の結果は職員間で周知しており、家庭への報告や生活に関する指導も行っている。検診の結果は保健指導として、保育の中で課業という活動を通して子ども達が自分で理解し自分のできるような時間を設定している。</p>		
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b
<p>&lt;コメント&gt;            アレルギー対応ガイドラインをもとに、アレルギーがある子どもへの対応を行っている。保護者と医師からの指示書をもとに密な連携を図り、園内での給食やおやつ提供への配慮を行っている。今後、アナフィラキシー症候群への対応など緊急対応マニュアルの研修会や定期的なマニュアルの点検見直しを行うことが望まれる。</p>		

		第三者評価結果
A-1-(4) 食事		
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a
<コメント> 子どもが楽しく食事できるように、世界の料理を献立メニューに取り入れる等工夫を行っている。食器の素材や個人差に合わせて食事の量を加減できるようにしている。コロナ禍において黙食やマナー指導も課業を通して子どもの食への関心を深める取り組みを行っている。保護者家庭とは保育ボランティア活動を通して食事の様子を観察してもらい連携を深めている。		
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a
<コメント> 子どもの発達状況や体調を考慮した献立の工夫を行っている。残食を調べ、子どもの食べる量や嗜好を把握し、献立に反映している。月に1回、世界の料理を献立に取り入れれたり、季節の食材の提供も行っている。衛生管理マニュアルをもとに衛生管理を行っており、過去1年以内に衛生管理で問題は発生していない。		

## A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a
<コメント> 主に連絡帳を日常の家庭との情報交換として主に使用している。保育内容や保育のねらいについてピクロシステムを用いて情報発信を行っている。面談時に家庭の状況や聞き取った内容を面談記録に記載し、職員間で情報共有を図っている。		
A-2-(2) 保護者等の支援		
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a
<コメント> 保育参観や保育ボランティアを通して、子どもの成長の喜びを共感しながら保護者の支援を行っている。重要事項説明書にも記述し、相談に応じる体制を周知しており、相談記録も適切に保管している。日々の送迎時でのコミュニケーションを大切にし、保護者との信頼関係を構築している。		

		第三者評価結果
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  登園時の視診や子どもの様子の観察を常に行っている。気になることがあればストレートに保護者へ聞く事もある。虐待が疑われる場合は、主幹保育教諭を中心に確認を行い、保護者の精神面や適切な養育環境への支援を行っている。虐待防止対応マニュアルをもとに早期発見・早期対応を行っているが、今後の課題としてマニュアルに基づく職員研修等の取り組みを行うことに期待する。</p>		

### A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b
<p>&lt;コメント&gt;  職員の保育実践の振り返りはリーダー会議にて行われている。保育士等の自己評価に関しては、望まれる保育士像に対する自己評価は行われているが、保育実践に対する自己評価の取り組みが見受けられなかった。今後は保育の改善や専門性の向上のため、保育実践に対する自己評価を行うことが望まれる。</p>		

評価機関名 特定非営利活動法人  
ローカルネット日本評価支援機構

事業所名称	キッズスクール認定こども園
-------	---------------

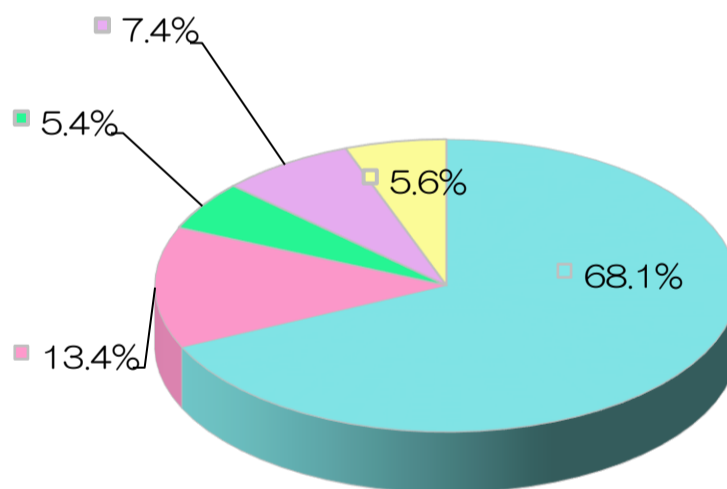
調査の対象・方法	対象：キッズスクール認定こども園 利用者保護者 方法：事業所より保護者へ調査表を配布していただき、返信用封筒にて、直接当機関へ返送する方法により実施した。
----------	--

調査実施期間	2020年11月15日～2021年2月22日
--------	------------------------

利用者総数（人）	90
調査対象者数（人）	90
有効回答数（人）	19
回収率（%）	21.1%

アンケート結果平均

はい	375 件	68.1%
どちらともいえない	74 件	13.4%
いいえ	30 件	5.4%
わからない	41 件	7.4%
無回答	31 件	5.6%



総 評	アンケート調査は利用者総数は90人であるが、任意の32人の保護者へ実施し19人より回答を得、実際の回収率は59%であった。質問中、施設の理念・基本方針の周知や納得、日頃の保育との一致に関する問いへは肯定的な回答を得ており、保育理念・方針が保護者間へ浸透していることが窺える。また、職員の対応は約9割の保護者が丁寧に対応してもらっていると回答し、「困ったことを相談できる職員が居る」への回答も8割を越える肯定的意見があることから、普段から職員と保護者の信頼関係ができていることが窺える。「お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか」や「お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか」、「登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか」についても8割が肯定的な回答を行っている。一方、「地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしているとおもいますか」や「異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか」、「送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか」についての問いに対する肯定的回答は3つとも31.6%に留まっていることを踏まえ、今後改善策を講じていくことが望まれる。
-----	---

長崎県福祉サービス第三者評価 利用者調査結果（保育所用）

事業所名称	キッズスクール認定こども園	有効回答数	19 人
-------	---------------	-------	------

評価対象	No	質問項目	回 答	回答数	(%)
全サービス共通項目					
施設の理念・基本方針	1	保育所が保育を実施する上での基本的な考え方や方針を知っていますか。	はい	17 件	89.5%
			どちらともいえない	2 件	10.5%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
	2	【はいの場合】保育を実施する上での基本的な考え方や方針には納得していますか。	はい	15 件	78.9%
			どちらともいえない	1 件	5.3%
			いいえ	1 件	5.3%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	2 件	10.5%
	3	【はいの場合】実際に利用してみて、日頃の保育サービスは基本的な考え方や方針と一致していますか。	はい	12 件	63.2%
			どちらともいえない	4 件	21.1%
いいえ			0 件	0.0%	
わからない			0 件	0.0%	
無回答			3 件	15.8%	
職員の対応	4	保育士や他の職員は親切、丁寧に対応してくれますか。	はい	17 件	89.5%
			どちらともいえない	2 件	10.5%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
プ ヘ ラ の イ 配 バ 慮 シ ー	5	「お子さんや自分が秘密にしたいこと」を他人に知られないように配慮してくれますか。	はい	10 件	52.6%
			どちらともいえない	1 件	5.3%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	8 件	42.1%
			無回答	0 件	0.0%
利用者の意向の尊重	6	保育について保護者の意向に関する調査が定期的に行われていますか。	はい	11 件	57.9%
			どちらともいえない	3 件	15.8%
			いいえ	2 件	10.5%
			わからない	3 件	15.8%
			無回答	0 件	0.0%
	7	困ったことを相談できる職員がいますか。	はい	16 件	84.2%
			どちらともいえない	3 件	15.8%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
苦 情 方 受 け 等 付 け	8	苦情がある場合の受付や解決の仕組みについて、説明がありましたか。	はい	12 件	63.2%
			どちらともいえない	2 件	10.5%
			いいえ	0 件	0.0%
			わからない	5 件	26.3%
			無回答	0 件	0.0%
不 満 や 要 望 へ の 対 応	9	不満や要望を気軽に話したり伝えたりすることができますか。	はい	10 件	52.6%
			どちらともいえない	6 件	31.6%
			いいえ	3 件	15.8%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%
	10	お子さんや保護者の要望・意見をもとに、改善が行われていますか。	はい	12 件	63.2%
			どちらともいえない	4 件	21.1%
			いいえ	3 件	15.8%
			わからない	0 件	0.0%
			無回答	0 件	0.0%

職員間の連携・サービスの標準化	11	あなたが要望したことが他の職員にも伝わり、理解されていますか。	はい		11 件	57.9%
			どちらともいえない		4 件	21.1%
			いいえ		2 件	10.5%
			わからない		2 件	10.5%
			無回答		0 件	0.0%
	12	保育士や他の職員の保育姿勢はだいたい同じですか（職員によって言うことやすることに違いがありませんか）。	はい		12 件	63.2%
			どちらともいえない		2 件	10.5%
			いいえ		2 件	10.5%
			わからない		3 件	15.8%
			無回答		0 件	0.0%
地域における子育て支援	13	地域や家庭（保育所を利用していない家庭も含めた）の子育て相談や交流会など、積極的に保育所の開放をしていると思いますか。	はい		6 件	31.6%
			どちらともいえない		3 件	15.8%
			いいえ		2 件	10.5%
			わからない		8 件	42.1%
			無回答		0 件	0.0%
事故の発生	14	お子さんが保育所の中で怪我をしたことがありますか。	はい		13 件	68.4%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		6 件	31.6%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		0 件	0.0%
	15	【はいの場合】怪我をした後の対応は適切でしたか。	はい		11 件	57.9%
			どちらともいえない		2 件	10.5%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		6 件	31.6%
【過去1年以内に利用開始した場合】	16	この保育所を利用する前に、保育所での生活や保育の内容についてわかりやすい説明がありましたか。	はい		11 件	57.9%
			どちらともいえない		4 件	21.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		4 件	21.1%
	17	実際に利用してみて、説明どおりでしたか。	はい		11 件	57.9%
			どちらともいえない		4 件	21.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		4 件	21.1%

個別サービス項目

食事	18	献立や栄養・食べ方などが工夫されていますか。	はい		15 件	78.9%
			どちらともいえない		1 件	5.3%
			いいえ		1 件	5.3%
			わからない		1 件	5.3%
			無回答		1 件	5.3%
施設的环境	19	お子さんが生活するところは心地よく過ごせる雰囲気ですか。	はい		14 件	73.7%
			どちらともいえない		4 件	21.1%
			いいえ		0 件	0.0%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		1 件	5.3%
	20	お子さんの発育や意欲を促すような遊具・玩具などが十分に用意されていますか。	はい		17 件	89.5%
			どちらともいえない		0 件	0.0%
			いいえ		1 件	5.3%
			わからない		0 件	0.0%
			無回答		1 件	5.3%

保育内容	21	園外で身近な自然や社会に接する機会が多いですか。	はい		13 件	68.4%		
			どちらともいえない		3 件	15.8%		
			いいえ		0 件	0.0%		
			わからない		2 件	10.5%		
			無回答		1 件	5.3%		
	22	お子さん一人ひとりに合わせた豊かな感性を育む活動・遊びが行われていますか。	はい		16 件	84.2%		
			どちらともいえない		0 件	0.0%		
			いいえ		0 件	0.0%		
			わからない		2 件	10.5%		
			無回答		1 件	5.3%		
	23	異年齢の子ども同士の交流が活発に行われていますか。	はい		6 件	31.6%		
			どちらともいえない		3 件	15.8%		
			いいえ		2 件	10.5%		
			わからない		8 件	42.1%		
			無回答		0 件	0.0%		
	24	お子さん一人ひとりの個性や生活習慣などの違いが尊重されていますか。	はい		14 件	73.7%		
どちらともいえない				2 件	10.5%			
いいえ				1 件	5.3%			
わからない				1 件	5.3%			
無回答				1 件	5.3%			
保護者への育児支援	25	送迎時の対話や連絡帳などで、日々のお子さんの様子を知ることができますか。	はい		6 件	31.6%		
			どちらともいえない		8 件	42.1%		
			いいえ		3 件	15.8%		
			わからない		1 件	5.3%		
			無回答		1 件	5.3%		
	26	子育てに関する気がかりな点や悩みについて、相談しやすいですか。	はい		15 件	78.9%		
			どちらともいえない		2 件	10.5%		
			いいえ		0 件	0.0%		
			わからない		1 件	5.3%		
27	保護者が参加しやすいように行事日程が組まれていますか。	はい		13 件	68.4%			
		どちらともいえない		3 件	15.8%			
		いいえ		2 件	10.5%			
		わからない		0 件	0.0%			
健康管理	28	登園時に、お子さんの様子についての把握・確認がありますか。	はい		17 件	89.5%		
			どちらともいえない		1 件	5.3%		
			いいえ		0 件	0.0%		
			わからない		0 件	0.0%		
			無回答		1 件	5.3%		
	29	インフルエンザなどの感染症が発生したときには、発生について説明がありますか。	はい		14 件	73.7%		
			どちらともいえない		2 件	10.5%		
			いいえ		1 件	5.3%		
			わからない		1 件	5.3%		
			無回答		1 件	5.3%		
			その他自由意見					